

2018年3月期 決算説明会

2018年5月25日

 日本カーバイド工業株式会社

目次

1. 会社概要
2. 2018年3月期決算の概要
3. 2019年3月期業績予想

会社概要

会社概要

(2018年3月31日現在)

商号	日本カーバイド工業株式会社 (NIPPON CARBIDE INDUSTRIES CO.,INC.)
本社	東京都港区港南2丁目16番2号
設立	1935年10月
資本金	7,034,055,242円
発行済株式数	8,194,029株
連結従業員数	3,451名
事業内容	機能製品事業、電子・光学製品事業、建材関連事業、エンジニアリング事業

What is CARBIDE ?

- カーバイドとは炭素と金属元素との化合物、炭化カルシウム(化学式 CaC_2)のことです。カーバイドは石灰岩から得られる生石灰と、コークス(炭素)を高温で熱して生成されます。良質な石灰岩を安定的に調達ができ、また生成に必要なエネルギーを豊富な水資源による水力発電から得られる富山の地に、1935年、「カーバイド」を原料としたアセチレン誘導工業のパイオニアとして日本カーバイド工業は設立されました。
- 以来、化学工業の発展とともに事業を再構築してきました。コア技術である**樹脂重合技術**、**フィルム・シート技術**、**焼成技術**を軸に、多様な製品を展開しています。

沿革

	事業展開	拠点展開	その他
創業～1930年代	<ul style="list-style-type: none"> 1935年、日本カーバイド工業(株)を設立 国産肥料(株)を合併、魚津工場(富山県魚津市)操業開始 	<ul style="list-style-type: none"> 本店を富山県に設置 	
1940年代～1960年代 自社技術の深化・拡大	<ul style="list-style-type: none"> 三和化学工業(株)(現株三和ケミカル)設立、化学・医薬品製品の製造・販売開始 メラミン樹脂製品の製造・販売開始 機能樹脂(粘・接着剤)の製造・販売開始 ビニフレーム工業(株)設立、建材関連事業を開始 包装材料の製造・販売開始 ダイヤモンドエンジニアリング(株)設立、エンジニアリング事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 本店を東京丸の内に移転(現本店は港区港南2-16-2) 大阪駐在(現大阪支店)を設置 早月工場(富山県滑川市)建設 	<ul style="list-style-type: none"> 東京証券取引所に上場 大阪証券取引所に上場
1970年代～1990年代 新規事業・海外展開の拡大	<ul style="list-style-type: none"> マーキングフィルムの製造・販売開始 株北陸セラミックに資本参加、電子材料(セラミック基板)事業に進出 タイにTHAI DECAL CO.,LTD設立、ステッカー事業開始 タイにELECTRO-CERAMICS (THAILAND) CO.,LTD.設立、セラミック基板製造開始 株関東応化に資本参加(現エヌシーアイ電子株)、プリント配線板事業を開始 ニッカポリマ(株)を設立、米国にNIPPON CARBIDE INDUSTRIES (USA) INC.、ドイツにNIPPON CARBIDE INDUSTRIES (EUROPE) GmbH設立、フランスに現NIPPON CARBIDE INDUSTRIES FRANCE S.A.S、スペインに現NIPPON CARBIDE INDUSTRIES ESPANE S.A.設立、再帰反射シート事業に進出 米国にNIPPON CARBIDE INDUSTRIES (South Carolina) INC.を設立、トナー用樹脂事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアにPT ALVINY INDONESIAを設立、ステッカー及び建材事業を展開 中国に恩希愛(杭州)化工有限公司(現恩希愛(杭州)薄膜有限公司)を設立、再帰反射シート事業を展開 ベトナムにNCI(VIETNAM)CO.LTD.を設立、ステッカー事業を展開 オランダにNIPPON CARBIDE INDUSTRIES (NSATHERLANDS) B.V.を設立、再帰反射シート事業を展開 	<ul style="list-style-type: none"> 転換社債発行(50百万スイスフラン)
2000年代～2018年3月期 選択と集中	<ul style="list-style-type: none"> ニッカポリマ(株)解散。再帰反射シート事業の効率化を進める プリント配線板事業からの撤退 	<ul style="list-style-type: none"> インドにNIPPON CARBIDE INDIA PVT.LTD.を設立、ステッカー事業を展開 ブラジルにNIPPON CARBIDE INDUSTRIA DO BRASIL LTDA. を設立、ステッカー事業を展開 研究拠点を新研究開発センター(富山県滑川市)に集約 	<ul style="list-style-type: none"> 1,300万株公募増資 創立80周年
2019年3月期～ 成長路線へ	<ul style="list-style-type: none"> 事業部門間シナジー、技術の重合・複合化による市場拡大と創造により増収を実現し、資産のさらなる有効活用、より高い業務効率で高収益性を実現する 		

経営理念／グループビジョン

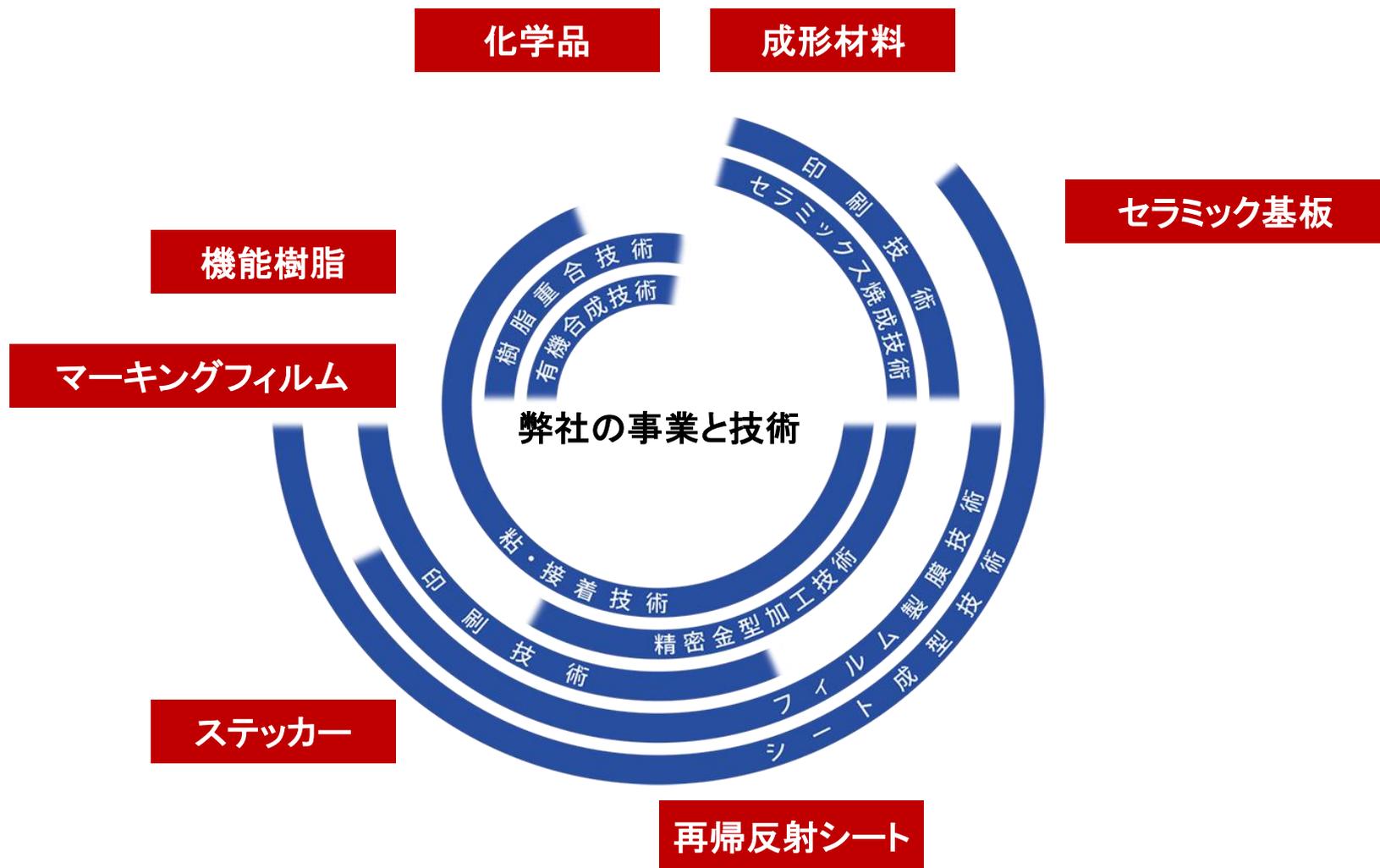
経営理念

技術の深耕と融合で価値を創造し、社会の繁栄に貢献していくこと

グループビジョン

私たちの使命	日本カーバイド工業（グループ）の特徴ある技術の深耕と融合で、価値ある製品を開発・製造・販売し、消費者の生活向上に資するとともに、お客様各社の発展に役立つことを通じて、社会の繁栄に貢献していくことを使命とします。
私たちの経営目標	『存在感のあるキラリと光る良い会社（グループ）』の実現 •私たちの使命を実行し、小さくとも技術力と経営効率の高いキラリと光る会社・グループ •各ステークホルダーに対して責任を果たして、信頼を得、存在感のある会社・グループ
経営方針	•常に技術・事業・会社を進化させる。 •成長分野への重点的資源配分とグローバル化を推進する。 •公正な、かつ環境・安全を重視した事業活動を実践する。 •基本に忠実な業務活動を実践する。
私たちの行動指針	•Sense of Urgency（状況変化や問題の察知と対策への結びつけ） •Change（変化させる、一歩前進） •Quick Response and Action（迅速な行動） •Teamwork（コミュニケーションとベクトル合わせ）

技術と製品



機能製品事業①

化学品

医農薬中間体や電子材料用原料等のスペシャリティ製品、更には医薬品原体を提供しています。



当社および(株)三和ケミカルにて製造、販売しています。

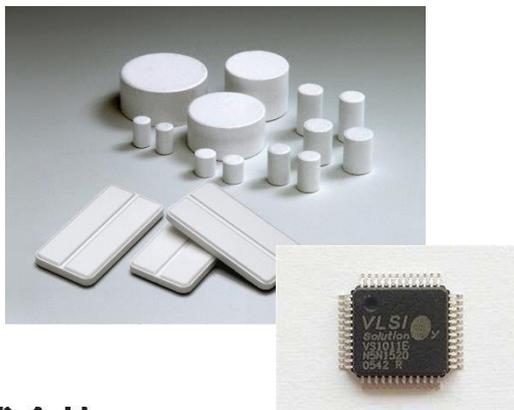
「CX-10」
萌芽や発芽を促進する植物成長調節剤です。ブドウや梨、桃、桜などの開花を揃える目的で使用されています。



成形材料

当社にて製造、販売しています。

半導体製造過程で生じる金型の樹脂汚れを除去するのに使用されます。ニッチですが、半導体の製造には欠かすことができません。



軽くて丈夫、熱に強く色付けしやすいメラミン樹脂は、学校や病院、企業の食堂や回転ずし店などで使われる食器の材料にもなります。



機能製品事業②

機能樹脂

高機能な粘・接着剤を開発・製造しています。

当社およびNCIサウスカロライナ(USA)、恩希愛(中国)にて製造、販売しています。

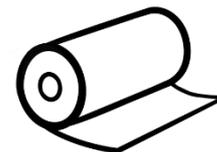


PET
粘着剤
TACフィルム
偏光子(PVA)
TACフィルム
粘着剤
LCDパネル
粘着剤
TACフィルム
偏光子(PVA)
TACフィルム

テレビやスマホ、タブレット、PCなどの液晶の偏光板に使われる光学フィルム用粘着剤として、アクリル溶剤系樹脂溶液を製造しています。



個人情報保護シールや宅配ラベル、付箋の糊などに使われます。



繊維や紙の加工にも使用されます。

トナーインクや塗料の原料となります。



ポップ剤の粘着部分の糊として使用されます。



【TOPIC】

『汗くずれ防止美膜キープ成分』として、(株)コーセー「エスプリーク エクラ 明るさ持続 BB リキッド UV」に、当社との共同研究により開発された機能樹脂が採用されています。

機能製品事業③

マーキングフィルム

耐候性に優れたカラー塩ビフィルム。「貼る塗料」とも言われます。当社ではフィルム原反とカル（フィルム原反＋粘着剤＋剥離紙）を提供しています。

当社および恩希愛(中国)にて製造、販売しています。



電車の車体



ラッピングバス
や商用車



車の塗装代替
(ブラックアウト)

屋外看板や屋外広告

レーザーマーキング ラベル

印字が消えな
いだけでなく、
自己破壊性を
持つ改ざん防
止機能と優れ
た耐久性を持
ちます。



包装用フィルム

スーパーや飲食店などで
使用される食品包装フィ
ルムです。

恩希愛(中国)
にて製造、販売
しています。



ステッカー

オートバイの車体を飾るステッカーは、東南
アジアで広く使用されています。

当社およびTHAI DECAL、NCIベトナム、PT ALVINY、NCIブラジ
ル、NCIndiaにて製造、販売しています。



3Dエンブレム



立体的でありながら高い柔軟
性を持つ立体エンブレムです。

電子・光学製品事業①

再帰反射シート

道路標識や屋外看板などに使用される再帰反射シートは、高い反射性能を持ちます。特にナンバープレート用への供給が多く、当社では欧州を中心に40か国以上に販売しています。

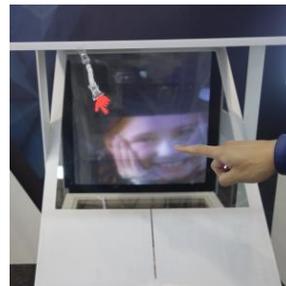


当社および恩希愛(中国)にて製造、当社、NCIオランダ、NCIフランス、NCIスペイン、NCIヨーロッパ(ドイツ)、NCI USAで販売しています。



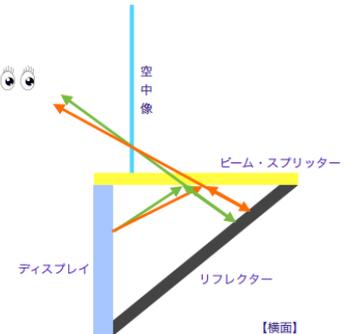
空中ディスプレイ用リフレクター

自動車や家電などの工業製品をはじめ、アミューズメント業界、広告業界など幅広い分野のサインージュ用途で注目されている「空中ディスプレイ」。再帰反射シートの技術を活用して、空中に画像を表示させる空中ディスプレイ用反射材(リフレクター)を開発しました。



空中ディスプレイ(再帰反射方式)の原理

1. ディスプレイから出た一部の光は、ビーム・スプリッターに向います。
2. ビーム・スプリッターで反射した光はリフレクターに向かいます。
3. リフレクターはビーム・スプリッターから来た光をビーム・スプリッターへ再帰反射させます。
4. ビーム・スプリッターを透過した光が集まり像ができます。

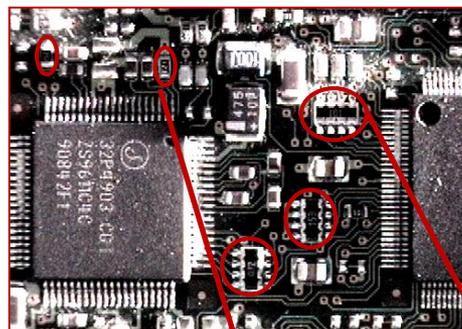


電子・光学製品事業②

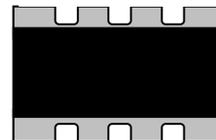
セラミック基板

焼成技術やシート成型技術、印刷技術を活かしたセラミック基板や厚膜印刷基板は、あらゆる電気製品に搭載されるチップ抵抗器用ベース基板や、電子部品を搭載する為の回路基板として使用されます。市場の黎明期から40年にわたり製品を供給する、市場のパイオニア的存在です。

当社および㈱北陸セラミック、Electro Ceramics Thailandにて製造、販売しています。

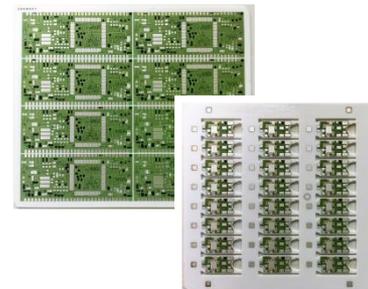


角チップ



多連チップ

電子部品を搭載する回路基板として使用されます。



電子部品材料としてあらゆる電機製品にチップ抵抗器は搭載されています。

建材関連事業／エンジニアリング事業

建材関連事業

ビニフレーム工業(株)の事業となります。

住宅・ビルアルミ建材

住宅・ビル用の手すりやカーポート内装建材として使用されるアルミ建材です。



樹脂押し出し製品

建材製品・電気製品・節電製品・ファニチャー製品・車輛・機械など幅広く使用されています。



エンジニアリング事業

ダイヤモンドエンジニアリング(株)の事業となります。

産業プラントの設計・施工

鉄鋼精錬と粉体ハンドリング技術を有し、鉄鋼・化学・環境プラントの設計や施工を行っています。

【TOPIC】

連続粉体吹込技術では、国家研究開発プロジェクトである、石炭ガス化複合発電の実証試験設備の一部を大崎クールジェン(株)（中国電力株式会社と電源開発株式会社の共同出資会社）より受注しています。



国内ネットワーク

- 主要国内10拠点(本社・支店1拠点・工場2拠点・製造所1拠点・研究所1拠点)
- 関係会社4社

● 本社 ● 事業所(支店、工場・研究所・製造所) ● 関係会社



魚津工場



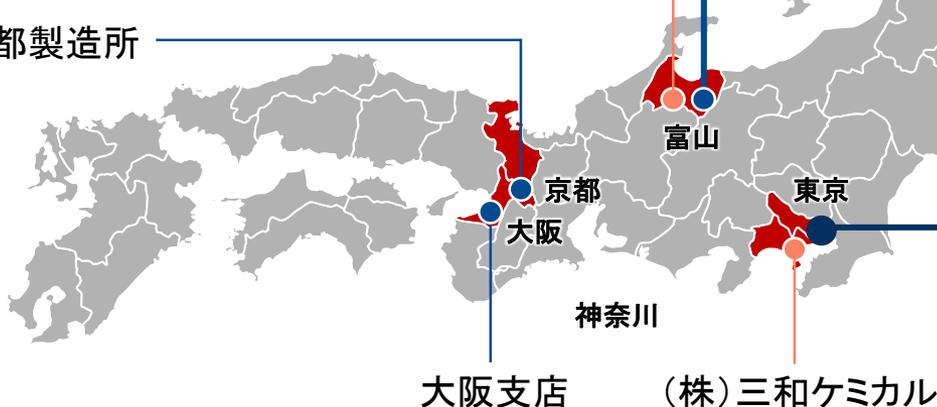
早月工場



研究開発センター

- ビニフレーム工業(株)
- ダイヤモンドエンジニアリング(株)
- (株)北陸セラミック

京都製造所



富山

京都

東京

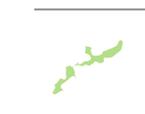
大阪

神奈川

大阪支店

(株)三和ケミカル

日本カーバイド工業(株)本社



海外ネットワーク

海外13拠点

欧州4拠点

再帰反射シートの販売

NIPPON CARBIDE INDUSTRIES
FRANCE S.A.S.

NIPPON CARBIDE
INDUSTRIES
(NETHERLANDS)B.V.

NIPPON CARBIDE
INDUSTRIES(EUROPE)GmbH

NIPPON CARBIDE INDUSTRIES
ESPAÑA S.A.

NIPPON CARBIDE INDIA PVT.LTD.



タイ

アルミナセラミック基板及び
厚膜印刷基板の製造、販売



中国

再帰反射シート、包材の製
造、販売、マーキングフィル
ムの販売及び各種ステッ
カーの印刷、製造、販売



米国

トナー用機能樹脂の製造、
販売

恩希愛(杭州)薄膜有限公司

Japan

ELECTRO-CERAMICS(THAILAND)CO.,LTD.

THAI DECAL CO., LTD.

NCI(VIETNAM)CO.,LTD.

PT ALVINY INDONESIA

NIPPON CARBIDE
INDUSTRIES(USA)INC.

NIPPON CARBIDE INDUSTRIES
(South Carolina)INC.

NIPPON CARBIDE
INDUSTRIA DO BRASIL LTDA.



タイ、ベトナム、ブラジル、インド
ステッカーの印刷、製造、販売



インドネシア

ステッカー、アルミ建材、
樹脂製品の製造、販売

2018年3月期決算の概要

サマリー【連結損益計算書】

5期連続経常増益、過去最高水準の当期純利益

(単位:百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	49,509	100.0%	50,761	100.0%	1,252	2.5%
売上原価	35,996	72.7%	36,301	71.5%	305	0.8%
販売費及び一般管理費	10,935	22.1%	11,228	22.1%	293	2.7%
営業利益	2,577	5.2%	3,232	6.4%	654	25.4%
経常利益	2,568	5.2%	3,375	6.6%	807	31.4%
当期純利益	631	1.3%	2,736	5.4%	2,105	333.7%
1株当たり当期純利益	7.71円	—	334.27円	—	—	—

注:2017年10月1日に10:1の株式併合

セグメント概要

- 機能製品は海外ステッカー販売好調などで増益
- 電子・光学製品は増収・黒字化

(単位:百万円)

セグメント	セグメント 売上高/ 利益	2017年3月期	2018年3月期	前期比		主要事業 (2018年3月期セグメント売上高に 占める割合)
				増減額	増減率	
機能製品	売上高	23,036	23,088	52	0.2%	<ul style="list-style-type: none"> 機能樹脂(売上高:約40%) マーキングフィルム、ステッカー、包材 (売上高:約35%) 化学品(売上高:約25%)
	利益	2,967	3,086	119	4.0%	
電子・ 光学製品	売上高	11,160	12,615	1,455	13.0%	<ul style="list-style-type: none"> 再帰反射シート(売上高:約60%) セラミック基板(売上高:約40%)
	利益	▲318	416	734	—	
建材関連	売上高	10,866	10,363	▲523	▲4.8%	<ul style="list-style-type: none"> 住宅・ビルアルミ建材、 樹脂押し出し製品(売上高100%)
	利益	679	601	▲78	▲11.5%	
エンジニアリング	売上高	7,423	5,625	▲1,798	▲24.2%	<ul style="list-style-type: none"> 産業プラントの設計・施工 (売上高:100%)
	利益	268	▲259	▲527	—	

セグメント別の状況 ①機能製品事業

(単位:百万円)

セグメント実績		実績	前期比
セグメント売上高	2017年3月期	23,036	増減額 52 増減率 0.2%
	2018年3月期	23,088	
セグメント利益	2017年3月期	2,967	増減額 119 増減率 4.0%
	2018年3月期	3,086	

- 化学品は農薬関連向けや電子材料向けが低迷し、減収減益
- 機能樹脂は医療向けなど高単価製品が好調で増収、ナフサ価格の上昇も吸収し増益
- ステッカーは東南アジア地域での販売が好調に推移し、増収増益

セグメント別の状況 ②電子・光学製品

(単位:百万円)

セグメント実績		実績	前期比
セグメント売上高	2017年3月期	11,160	増減額 1,455 増減率 13.0%
	2018年3月期	12,615	
セグメント利益	2017年3月期	▲ 318	増減額 734
	2018年3月期	416	

- 再帰反射シートは欧州向けや中国向けなどの販売が好調に推移し、増収増益
- セラミック基板は車載向けやデジタル家電向けなど堅調な需要による増販もあり、増収増益
- プリント配線板事業の撤退、セラミック基板・再帰反射シートの好調により長らく赤字だった事業が7期ぶりに黒転

セグメント別の状況 ③建材関連事業

(単位:百万円)

セグメント実績		実績	前期比
セグメント売上高	2017年3月期	10,886	増減額 ▲523 増減率 ▲4.8%
	2018年3月期	10,363	
セグメント利益	2017年3月期	679	増減額 ▲78 増減率 ▲11.5%
	2018年3月期	601	

- 住宅用アルミ建材は主力の手摺、笠木等の販売が低調となり、減収減益。但し、4期連続売上高100億円超、昨年の最高益に次ぐ経常利益

セグメント別の状況 ④エンジニアリング事業

(単位:百万円)

セグメント実績		実績	前期比
セグメント売上高	2017年3月期	7,423	増減額 ▲1,798 増減率 ▲24.2%
	2018年3月期	5,625	
セグメント利益	2017年3月期	268	増減額 ▲527
	2018年3月期	▲ 259	

- 産業プラントの設計・施工は国内向けの大型工事案件の完工が減少し、減収減益

連結貸借対照表

自己資本比率は37.0%、前年比5.1ポイント改善

(単位:百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		前期比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	30,090	49.4 %	31,880	51.3%	1,790
固定資産	30,852	50.6%	30,233	48.7%	▲619
有形固定資産	27,552	45.2%	25,484	41.0%	▲2,068
無形固定資産	645	1.1%	626	1.0%	▲19
投資その他の資産	2,654	4.4%	4,122	6.6%	1,468
資産合計	60,942	100.0%	62,114	100.0%	1,172
流動負債	25,930	42.5%	23,591	38.0%	▲2,338
固定負債	14,506	23.8%	14,236	22.9%	▲269
負債合計	40,436	66.4%	37,828	60.9%	▲2,608
株主資本	12,596	20.7%	15,169	24.4%	2,573
その他の包括利益累計額	6,820	11.2%	7,840	12.6%	1,020
非支配株主持分	1,089	1.8%	1,276	2.1%	187
純資産合計	20,506	33.6%	24,285	39.1%	3,779

(参考)自己資本/自己資本比率

2017年3月期 19,416百万円/31.9%

2018年3月期 23,009百万円/37.0%

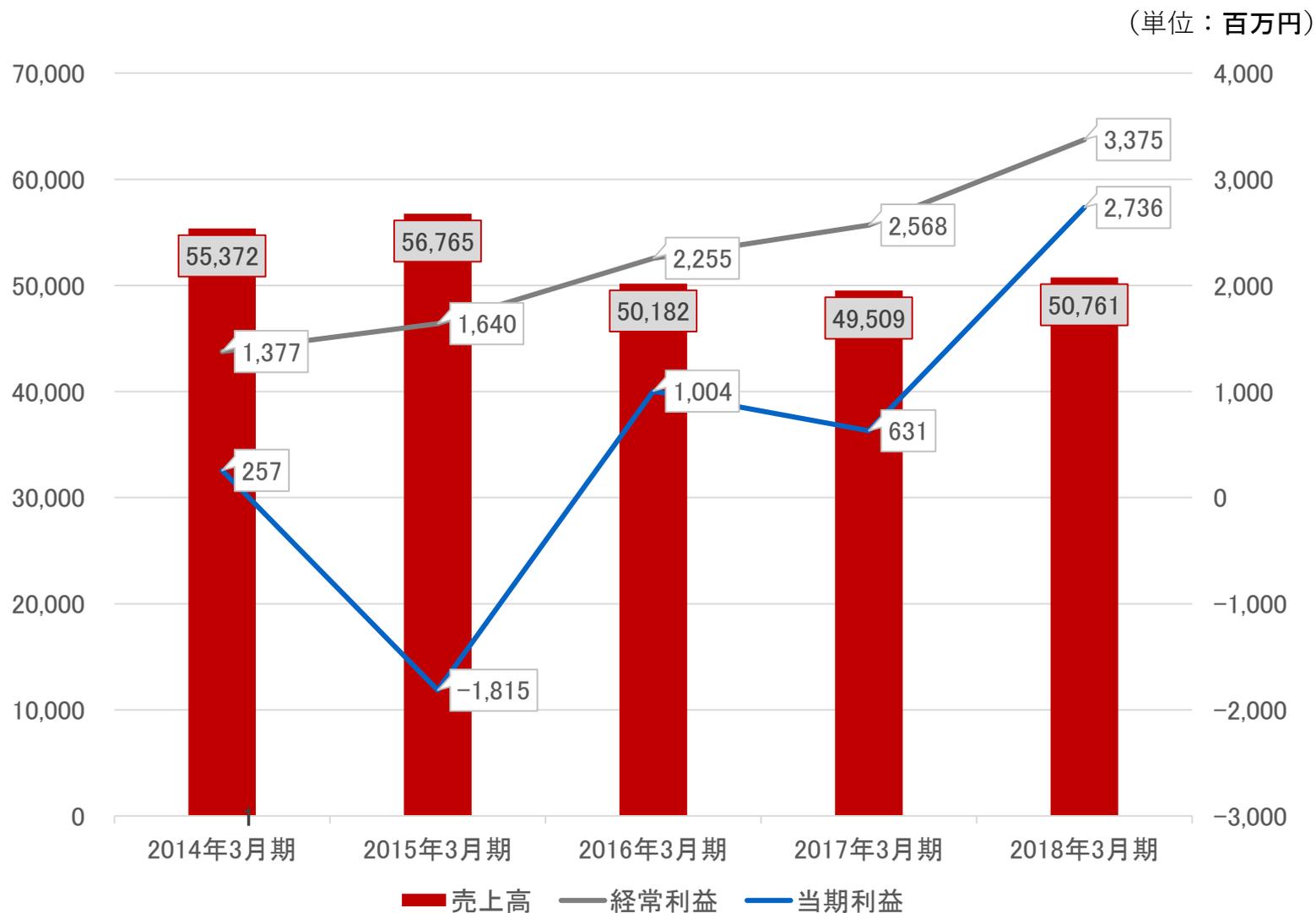
連結キャッシュ・フロー計算書

2018年3月期のフリー・キャッシュ・フローは1,956百万円(前期比1,745百万円増)

(単位：百万円)

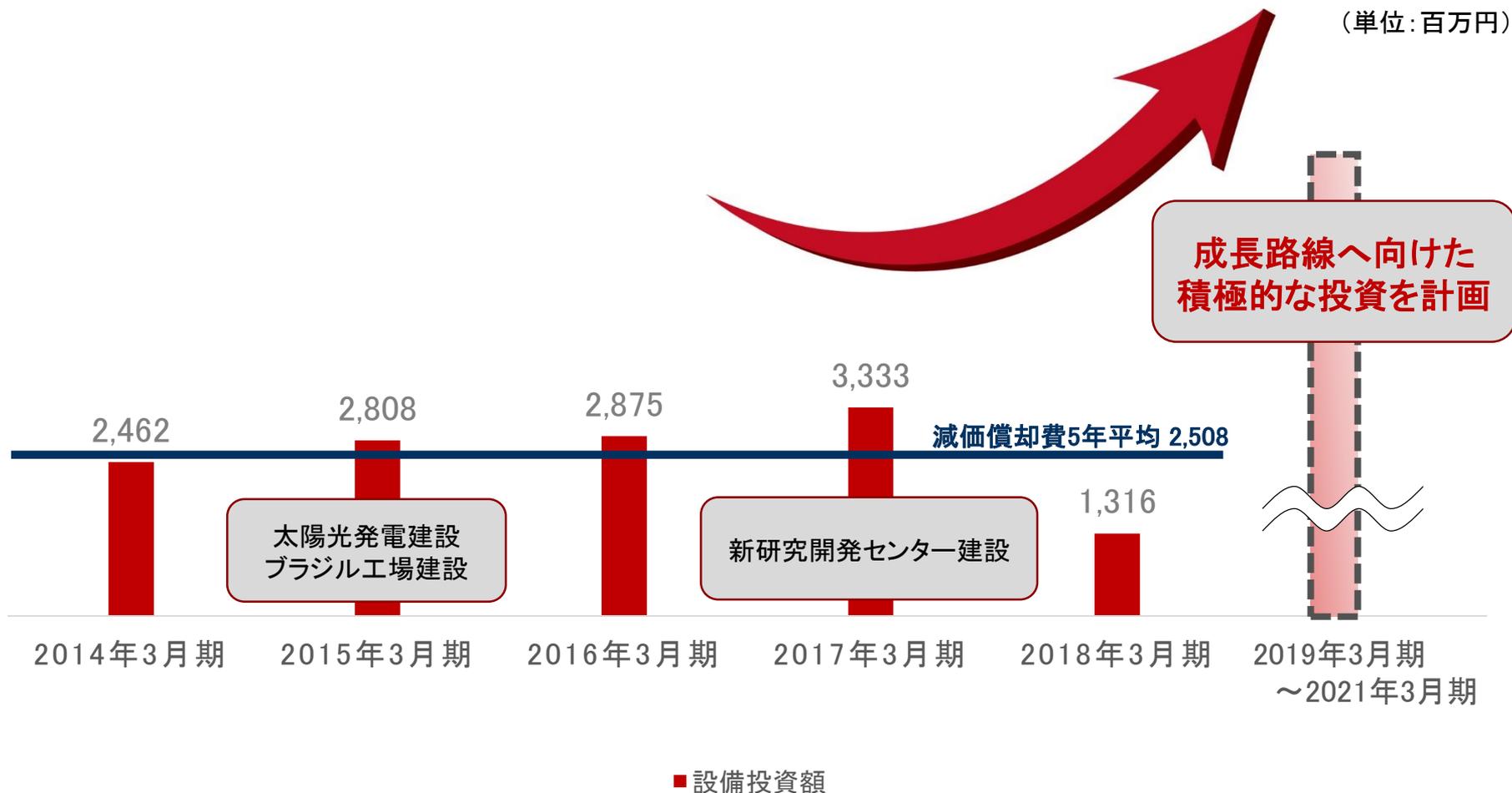
	2017年3月期	2018年3月期	前期比増減
現金及び現金同等物の期首残高	3,727	3,435	▲292
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,421	3,740	319
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,210	▲1,784	1,426
フリー・キャッシュ・フロー	211	1,956	1,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲374	▲1,015	▲640
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲128	22	150
現金及び現金同等物の期末残高	3,435	4,398	963

連結業績の推移(直近5期)

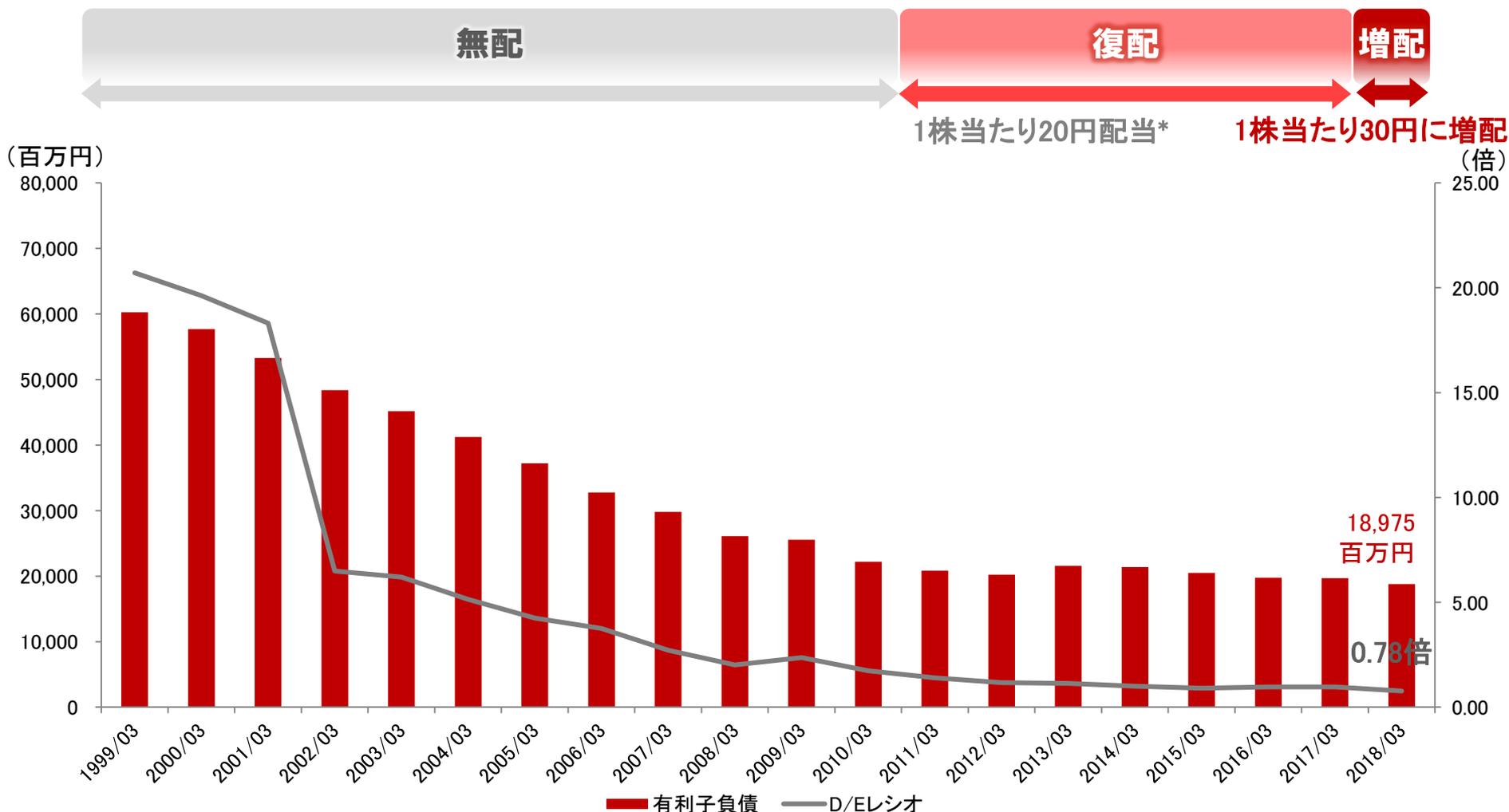


設備投資の状況

事業の選択と集中から成長路線のフェーズへ



有利子負債及び配当の推移



注: 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2017年3月期以前の1株当たり配当金額は当該株式併合を考慮して換算した金額を記載しております。

2019年3月期業績予想

当期からのセグメント変更

2019年3月期より、販売先の業界や分野が共通・類似している事業をとりまとめ、事業内で営業情報・技術情報を共有し、シナジー効果を発揮できるよう、セグメント変更を実施

機能製品事業

化学品
成形材料
機能樹脂
マーキングフィルム
ステッカー

電子・光学製品事業

再帰反射シート
セラミック基板
プリント配線板

～2018年3月31日

2018年4月1日～

電子・機能製品事業

化学品
成形材料
機能樹脂
セラミック基板

フィルム・シート事業

再帰反射シート
マーキングフィルム
ステッカー

連結業績予想

- 6期連続経常増益および経常利益率改善を見込む
- 当期純利益は前期の法人税の還付等の特殊事情がないため減益を予想しているが、事業活動においては増収増益基調は変わらず

(単位:百万円)

	18/3月期		19/3月期		前期比	
	実績	利益率	予想	利益率	増減額	増減率
売上高	50,761	—	52,000	—	1,239	2.4%
営業利益	3,232	6.4%	3,400	6.5%	168	5.2%
経常利益	3,375	6.6%	3,500	6.7%	125	3.7%
当期純利益	2,736	5.4%	2,400	4.6%	▲336	▲12.3%
1株当たり 当期純利益	334.27	—	293.12	—	—	—
1株当たり配当金	30.0	—	30.0	—	—	—

業績予想ポイント（新セグメントによる）

新セグメントにより算出した2019年3月期予想売上高と利益

（単位：百万円）

セグメント	セグメント 売上高/ 利益	2018年3月期 実績	2019年3月期 見込	前期比		コメント
				増減額	増減率	
電子・機能製品	売上高	19,642	20,000	358	1.8%	<ul style="list-style-type: none"> 機能樹脂は増収を見込むが、原材料価格上昇の影響で減益を計画 化学品は増収を見込むが、減益を計画 セラミック基板は堅調な需要により増収、コストダウンにより増益を計画
	利益	1,959	2,000	41	2.1%	
フィルム・シート	売上高	16,042	17,000	958	6.0%	<ul style="list-style-type: none"> ステッカーは東南アジアでの需要が堅調で増収増益を計画 再帰反射シートは中国・欧州が堅調のため増収を見込むが、原材料価格上昇と為替の影響で減益を計画
	利益	1,657	1,600	▲57	▲3.5%	
建材関連	売上高	10,363	11,000	637	6.2%	<ul style="list-style-type: none"> 増収を計画しているが、原材料価格上昇の影響などで減益を計画
	利益	601	400	▲201	▲33.5%	
エンジニアリング	売上高	5,625	4,000	▲1,625	▲28.9%	<ul style="list-style-type: none"> 受注の端境期にあたるため減収だが、増益を計画
	利益	▲259	20	279	—	

中期経営プラン「ACTIVE2018」

基本方針

増収増益を継続して達成できる企業グループを実現する

重点施策

- ① 事業所の徹底した安全の確保と製品品質の揺るぎない向上を図る
- ② 事業の選択と集中を加速し、増収増益を継続できる体質に転換する
- ③ 研究開発の効率を引き上げ、速やかな上市に着実に結びつける
- ④ 海外事業会社の体質を強化し、収益力の確保・拡大を確実に進める
- ⑤ 国内関係会社は其々の強みを伸ばし、確固たる事業基盤を築く

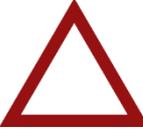
経営指標

売上高540億円以上⇒520億円以上

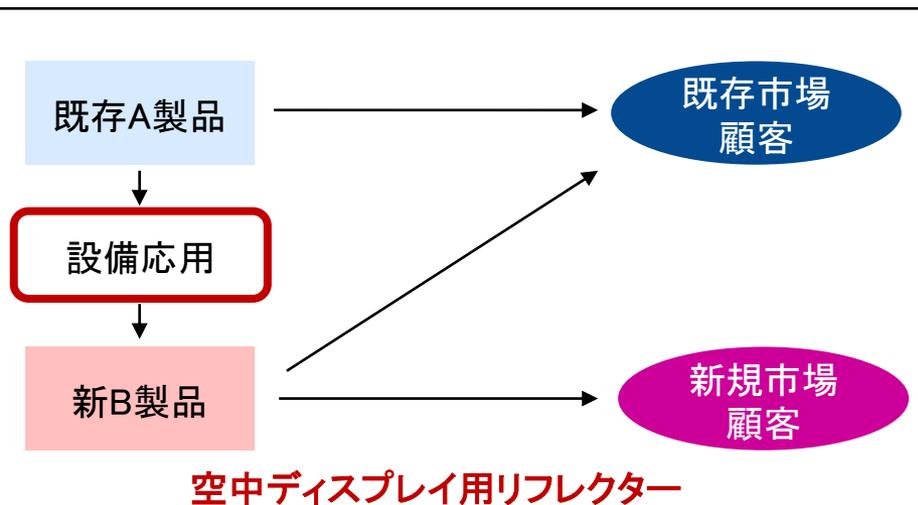
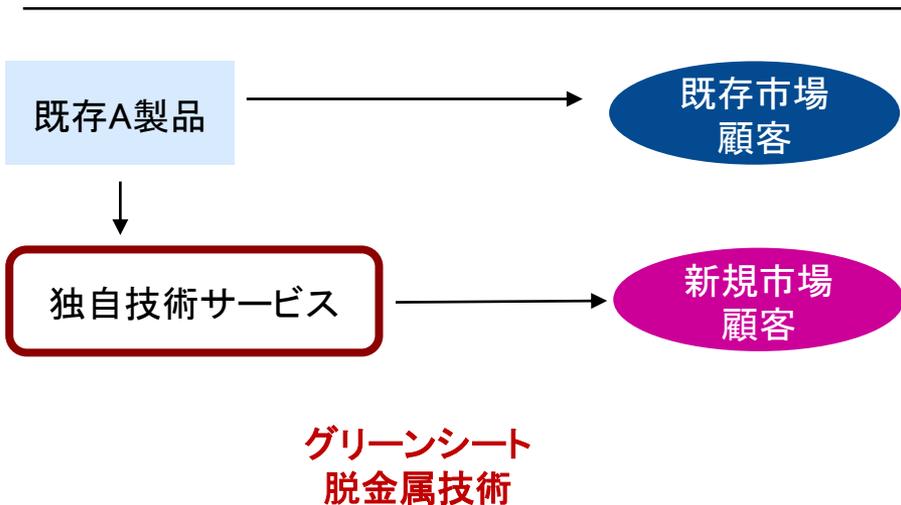
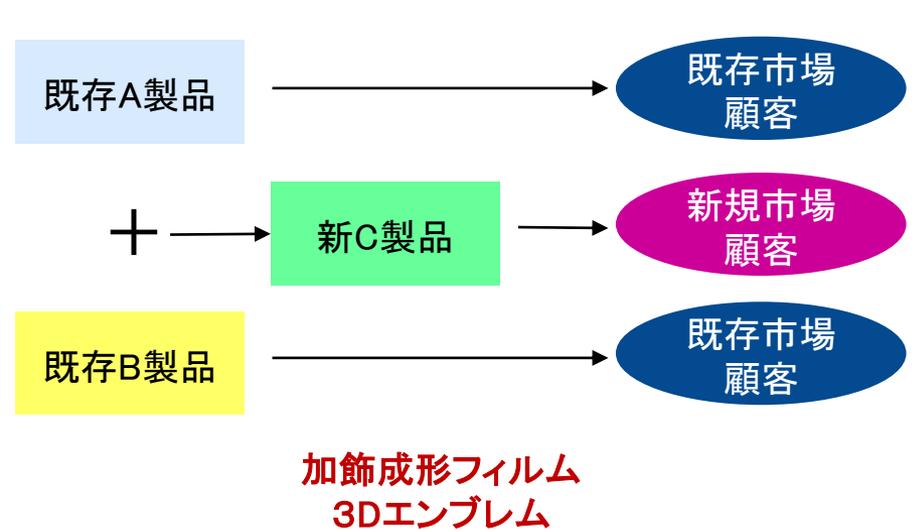
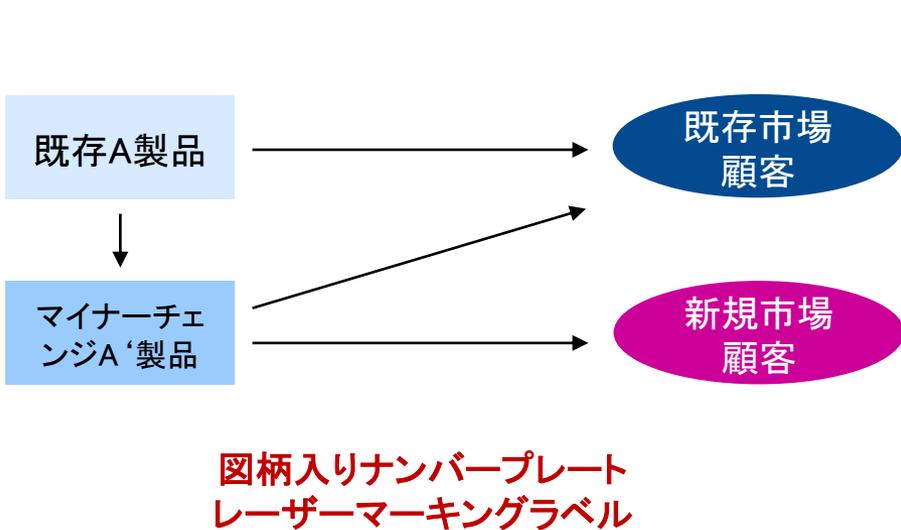
経常利益30億円以上⇒35億円以上

売上高520億円、経常利益35億円を見込む

中期経営プラン進捗状況

取り組み内容	進捗状況	
事業の選択と集中		<ul style="list-style-type: none"> ・中期経営プランを1年前倒して完了 ⇒2019年3月期より成長路線へ ・セラミック基板事業の安定黒字化 ・デンカ(株)とのグリーンシート協業開始
研究開発効率化による速やかな上市		<ul style="list-style-type: none"> ・事業開拓・開発部の立ち上げによる新製品開発 ・研究拠点集約の成果(開発業務効率化と高度化の推進)はこれから
海外事業会社体質強化		<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアは好調 ・インドは苦戦
国内関係会社強みの伸長 確固たる事業基盤確立		<ul style="list-style-type: none"> ・ビニフレーム工業(株)100億円売上の継続 ・ダイヤモンドエンジニアリング(株)の風土改革、体質改善

新製品開発／市場拡大と創造の取り組み



IRに関するお問い合わせ先

日本カーバイド工業株式会社

経営企画部 広報・IRグループ

電話 03-5462-8224

メール prir@carbide.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。